

協力団体・個人一覧

老人クラブ

団体名	協力可能な活動内容	協力可能な時期、時間、頻度等	費用弁償の 要否	講師謝礼の 目安
空知太睦会老人クラブ 会長 羽田義一 Tel 53-2957	・実技指導の支援(ミシン) ・学校の環境整備の支援	空知太小学校地区に限ります。	不要	

各種活動団体一覧

社会教育活動団体

団体名	設立年月	活動内容	内容
砂川市子ども会育成団体連絡協議会 西7条北2丁目1-1 社会教育課内 Tel 74-8379 shakyokr@city.sunagawa.lg.jp	昭和60年	ジャリン子夏祭り 8月1日(木)	水遊びなどを通し、屋外で活動することへの意欲を高める。
		空知管内地域子ども 初級リーダー養成 研修会 I…6月以降 II…10月以降	交流レクや野外炊飯などを通し、リーダーとしての技能を養成する。
		子連協備品の 無料貸し出し	単位子ども会や町内会などの団体へ備品の無料貸し出しを行う。 (かき氷機、フライヤー、綿あめ器、発電機、ポップコーンメーカー、ストラックアウトなど) ※営利目的の団体への貸出は行わない。
すながわ子どもセンター協議会 西7条北2丁目1-1 社会教育課内 Tel 74-8379 shakyokr@city.sunagawa.lg.jp	平成12年 6月	ジャリン子四季体験塾 夏…7月6日(土) 秋…10月19日(土) 冬…2月15日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・人とのかかわりを通し、人や砂川の魅力を知り、郷土を愛する子どもを育てる。 ・様々な自然体験活動を通し、生きる力や学びに向かう力を身に着けた子どもを育てる。 ・砂川の未来を担うリーダーを育てる。
		学校巡回写真展	市内5校の小学校において、体験塾での活動写真を夏、秋の各事業終了後に校内掲示し、教職員や児童へ活動を発信する。
		愛のリングプル運動	子どもセンター協議会会議終了後、リングプルの計量・袋詰め・発送を行う。車椅子を取得したら、日常的に車椅子を使用する市内施設へ寄贈する。
		子どもセンター協議会 (会議)	事業内容について協議を行う(年5回開催予定)
国際交流ふれあい委員会 西7条北2丁目1-1 社会教育課内 Tel 74-8379 shakyokr@city.sunagawa.lg.jp	平成13年	国際交流ふれあい in 砂川 I…6月29日(土) II…10月26日(土)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域人材を活かし外国の文化・風習・言語に親しみ、国際社会への興味・関心を持たせる。 ・多様な活動を通してALT等とのコミュニケーションの充実を図る。
		国際交流ふれあい 委員会(会議)	事業内容について協議を行う(年6回程度開催予定)
生涯学習市民の集い実行委員会 西7条北2丁目1-1 社会教育課内 Tel 74-8379 shakyokr@city.sunagawa.lg.jp	平成18年	生涯学習市民の集い 「いってみよう! やっ てみよう! 2024」 9月28日(土)	体験を通じた学習の機会を提供し、市民の生涯学習を推進する。 場所：公民館全館
		生涯学習市民の集い 実行委員会(会議)	事業内容について協議を行う(月1回程度開催予定)

出張公民館講座

公民館グループ・サークル

令和6年3月現在

	グループ・サークル名	内 容
俳句	創の会	俳句を作って楽しむ。
舞踊	桜の会	砂川おどり(千人踊り)の踊り方を学びながら楽しむ。
	砂川音頭保存会	砂川音頭を学ぶ。
ダンス	砂川フォークダンス同好会	楽しいフォークダンス、レクリエーションダンスを学ぶ。
	すながわ夷	よさこい踊りを中心に、簡単なジャズダンスなどを踊って楽しむ。
ヨガ	ヨガサークル ゆる～り ～よがのわ～	ヨガを通してゆっくりとした呼吸で体幹を整える。
郷土	砂川市郷土研究会	郷土砂川の歴史・記憶等古事蹟の発掘保存について学ぶ。
生活	婦人之友 砂川友の会	家計簿の付け方を学ぶ。
手話	砂川手話の会	手話の意義やあいさつなど初歩的な手話を学ぶ。
成年後見	成年後見を学ぶ会	成年後見制度について学ぶ。
百人一首	砂川百人一首かるたクラブ	板かるた、坊主めぐり

郷土資料貸し出し一覧

昔の道具



①わらぐつ ②たらいと洗濯板 ③羽釜 ④つるなべ ⑤薪ストーブと石炭 ⑥ランプ ⑦黒電話

衣食住における昔の道具です。社会科副読本「すながわ」にも載っています。

①のわらぐつは昭和初期まで利用され、②から⑥までは電化製品が普及する昭和30年代まで、⑦の黒電話は昭和の終わりのころまで使用していました。

米作りの道具

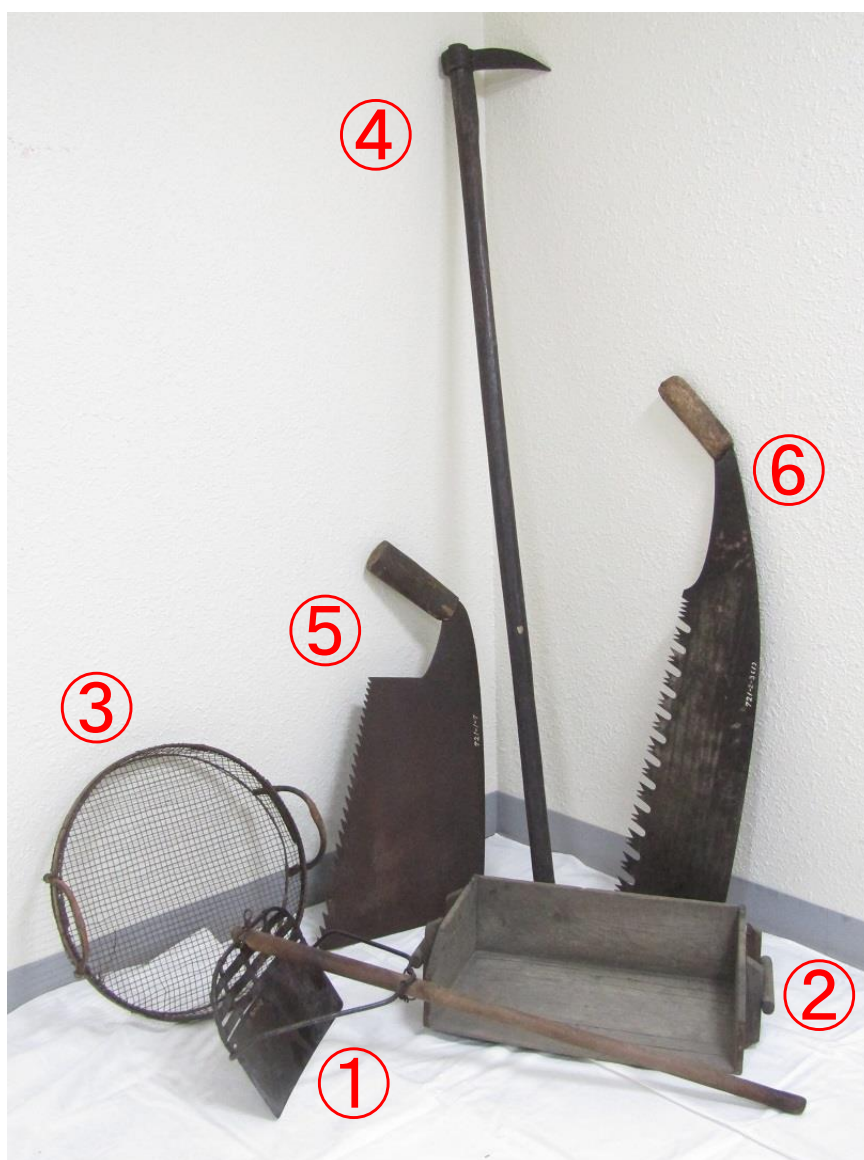


①備中くわ ②苗かご ③稲刈りかま ④千歯 ⑤一斗ます ⑥たわら

米作りの過程を理解しやすくするため、田起こしから収穫までを道具でまとめたものです。

①備中くわで田起こしをして、②苗かごに苗を入れて田植えを行います。③稲刈りかまは、草刈りかまに刈り取った稲がまとまりやすいよう針金を取り付けたものです。刈り取った稲は④千歯で脱穀し、⑤一斗ますで計量して、⑥たわらに詰めます。おおよそ四斗で一俵とされています。

砂川の仕事



①じょれん ②箱み ③とおし ④とび ⑤木挽のこ ⑥天王寺のこ

石狩川で行われていた砂利採取と木材の流送の道具と木材加工の道具です。

砂川の町が出来始めた頃の主な産業である砂利採取は、①じょれんで川岸の砂利を掘り起し、②箱みに集めて、③とおしで泥や小さな砂利をふるい落としました。トラックが普及する昭和 20 年代までは人と馬車で行われていました。また砂川には、石狩川での流送によって運ばれた木材を貯める貯木場があり、④とびを使って水に浮かべた木材を移動していました。陸揚げされた木材は木挽き工場に運ばれ、⑤と⑥のような大きなのこぎりで板や柱に加工されていました。

「砂川市開拓史跡標柱」一覧表(18ヶ所)

番号	物件名 (建立場所)	建立者 建立月日	説 明
1	あさだ み つ じ お う 浅田三津次翁の碑 (空知太駄馬の沢)	砂川市教育委員会 S46.10.1	明治21年空知太最初の居住者として移住、翌年市外に移り商店旅館を営む傍ら奈江村総代郵便局長、農会長として村政に尽くしました。後に駄馬の沢で農場澱粉工場の経営、南空知太ワラ細工産業組合の設立等指導育成や地域の発展に大きな足跡を残しました。 【平成9年12月26日ステンレス標柱に建替え】
2	かみかわどうろかい 上川道路開さく記念碑 (空知太会館跡地前)	砂川市 S44.11.26	明治19年5月16日上川まで乗馬でいける仮道路を造るため、この地を本拠地として囚人の手によって上川道路の開さくが始められました。 【令和4年8月1日修繕】
3	さんこうしゃ 三光舎マッチ工場跡 (空知太会館跡地前)	砂川市教育委員会 S45.9.30	明治25年、空知太のドロヤナギを原料にマッチ工場が造られましたが、明治28年に廃止されました。 【平成元年8月9日ステンレス標柱に建替え、令和4年8月18日修繕】
4	そらちぶとえき 空知太駅跡 (空知太(空知川鉄橋東側函館本線沿い))	砂川市教育委員会 S46.10.31	明治25年に空知太駅が設置されこの地も繁栄しましたが、明治31年旭川まで鉄道が延長され駅は廃止されました。 【平成3年10月27日ステンレス標柱に建替え】
5	かいたく いしづえ 開拓の礎 (空知太(石山遊歩道の中間地点))	砂川市郷土研究会・ 砂川ライオンズクラブ S43.6.	砂川市開拓のため礎となった上川道路開さく工事に従事した囚人、鉄道敷設に従事した労働者、かんがい溝工事に従事した土工夫など数多くの無名な人々の冥福を祈り、その遺業を讃える碑。
6	ふうぼうりん ちあと 風防林地跡 (北光502番地(北7号線沿い))	砂川市教育委員会 S46.10.31	明治23年、奈江村の殖民地地区画が設定されるに当たり、ここから西に向かって風防林が設定されました。 【平成2年12月6日ステンレス標柱に建替え】
7	せいが せいま 製瓦・製麻工場跡 (北光238番地(北7号線沿い))	砂川市教育委員会 S47.10.25	明治33年、鉄道線沿いに製瓦工場、大正8年東1線付近に製麻工場が建設されました。(製瓦工場は35年、亜麻工場は昭和2年廃止) 【平成4年9月6日ステンレス標柱に建替え、令和4年8月18日修繕】
8	せいねんりゅうかん 青年流汗の碑 (空知太(空知川堤防、松浦台))	砂川市教育委員会 S41.11.14	昭和38年に働きつつ学ぶ産業開発青年隊のキャンプが設けられて以来、隊員の努力により北光地区の治水事業の完成に貢献した若人たちの功績をたたえ、建立されました。 【令和5年9月15日修繕】
9	まつうらたけしろうとうさ ち 松浦武四郎踏査の地 (空知太(空知川堤防、松浦台))	砂川市・砂川市郷土研究会 S39.9.16	開拓初期の行政官であり探検家であった氏は、和人として最初に砂川の土を踏んだ人で、遺稿、石狩日誌によると安政4年5月15日40歳のときアイヌ4人をつれて丸木舟で浦臼を経て空知太に来ました。 【令和5年9月15日修繕】
10	なえむらこちようやくばあと 奈江村戸長役場跡 (東1条北5丁目(国道12号線沿い))	砂川市教育委員会 S44.10.27	明治23年8月7日奈江村が設置され、明治28年6月20日始めてこの地に戸長役場が設置されました。 【昭和61年10月16日ステンレス標柱に建替え、令和3年5月14日修繕】

番号	物件名 (建立場所)	建立者 建立月日	説明
11	てつどういんもくざいぼうふこうじょうあと 鉄道院木材防腐工場跡 (西4条北1丁目(中央 勤労者福祉会館前))	砂川市教育委員会 S45.12.4	上流からいかだで送られてきた原木は、明治41年にこの地に設置された鉄道院木材防腐工場で、まくら木として防腐加工されました。 【昭和63年12月17日ステンレス標柱に建替え、平成16年9月24日移設、令和3年5月14日修繕】
12	ちよ ぼくじょう あば 貯木場(アバ)、 じゃりば とせん ばあと 砂利場、渡船場跡 (石狩川堤防用地、(西 4条南1丁目西側))	砂川市教育委員会 S45.9.30	明治24年頃から大正5年頃まで、この地に流送された木材の貯木場が設けられました。また、明治23年1号線地先に渡船場が設置され、上流からの小船による輸送の積降しも行なわれました。昭和3年現市役所に移り、昭和30年の砂川大橋の完成により渡船場は廃止されましたが、その頃まで河川砂利の採取、輸送の中心地でした。 【平成5年12月3日ステンレス標柱に建替え、令和3年5月14日修繕】
13	しりつ がっこう すながわしょうがっこう 私立学校(砂川小学校 の前身)跡 せんしん あと 西1条南2丁目(国道1 2号線西側)	砂川市 S44.10.31	明治24年8月、砂川の住民が力を合わせてこの地に私立学校を開設しました。児童数35名、教師1名、1教室で、経費には授業料と住民の寄付が充てられました。 【平成7年12月19日ステンレス標柱に建替え、令和3年5月14日修繕】
14	あさひかわだいななしだんこうへいたい 旭川第七師団工兵隊 えんしゅうしょうしやあと 演習廠舎跡 (西3条南4丁目(信光 寺裏石狩川寄り))	砂川市教育委員会 S45.9.30	明治40年11月、この地に第七師団工兵隊の演習廠舎が設置され、架橋、渡河爆破などの演習を行いました。 【昭和62年9月17日ステンレス標柱に建替え、令和5年8月21日修繕】
15	ろうぼく みづまつ 老木「水松」 (砂川神社境内)	砂川市教育委員会 S39.9.15	この水松は樹齢約2千年といわれ、大正5年に一の沢から移植されました。周囲4m、高さ約10mあります。(道銘木指定 S49年3月30日) 【平成8年11月19日ステンレス標柱に建替え、令和5年8月21日修繕】
16	そらちしゅうじかん 空知集治監 なえがいえきしよあと 奈江外役所跡 (西1条南22丁目(アメ ニティ・タウンシンボル 塔下))	砂川市教育委員会 S59.6.	空知集治監奈江外役所は、上川道路(現在の国道12号線)開さくに囚人を使役し、工事に当たらせるために設けられた工事飯場で、明治19年から22年頃まで設置されていました。 【平成6年11月30日ステンレス標柱に建替え、令和5年8月21日修繕】
17	やけやまき 焼山駅跡 (焼山331番地(焼山コ ミュニティセンター 前))	砂川市教育委員会 S63.11.	明治24年7月5日岩見沢～歌志内間に空知線が開通(砂川～歌志内間を主に石炭を輸送)。この地にあった焼山駅は、昭和22年線路班従業員の仮乗降所として始まり、地域住民の駅として繁栄しましたが、昭和63年4月24日歌志内線の廃止により、その歴史を閉じました。 【令和3年6月30日修繕】
18	りよかんみうらや 旅館三浦屋および とせん ば 渡船場の跡 (空知太西6条6丁目 (空知太大橋手前))	砂川市教育委員会 H11.1.29	砂川の最初の移住者である三浦米蔵氏が、明治20年に渡船場と旅人宿をこの地で開きました。実際に開業していたところは橋の北側で、現在は川になっています。 【平成11年1月29日ステンレス標柱として建立、令和4年8月18日修繕】